

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 尾道市立因北中学校 】

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	1・2学年生徒全員
3 展開の形式	(○) 教科で実施 教科名 (保健体育科) () 教科以外で実施 ()
4 目標（ねらい）	○佐伯美香様の「夢を実現するために」から学ぶ（キャリア教育） ○バレーボールの楽しさを知る
5 取組内容	○事前学習 バレーボールの実技練習 ○事後学習 アンケート実施・感想文を書く ○当日 ・講演「夢を実現するために」 ・ウォーミングアップ ・パスの仕方 ・円陣パス ・講師のスパイクをレシーブする
6 主な成果	○アンケートの結果から ・言葉の力 「辛いときこそポジティブに」「苦しいときこそ笑顔」「チームとしてやってきた」など、言葉からの力をもらって部活動や勉強に生かしたいと気持ちが生まれた。 ・スポーツが持つ力 コミュニケーションが生まれる・生き方が変わる・障がい者の人も含め誰でも楽しめる・自分で決断したことは絶対やり通すという強い気持ちが生まれる ・オリンピック・パラリンピックへの関わり方 テレビ観戦もいいが、実際に生で観戦してみたい 地域の活動している人に貢献できるような人になりたい オリンピックに出られるような人になりたい
7 実践において工夫した点（事業の特色）	○できるだけ多くの生徒に体験してもらうために、1・2年生を対象にした。 ○感想文に自分の感じたことをまとめた。
8 主な課題等	○多い人数を対象にすると、道具が足りない（近隣の中学校からバレーボールを借りた）ことや、実技の時間が少なくなる。 ○部活動に生かしたいという気持ちを、部活動顧問が部活動に生かす仕組みを考えなければならない。
9 来年度以降の実践について	○チャンスがあれば参加したい。反面、多くの学校にも体験してもらいたい。